

介護過程Ⅱ

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

介護過程における自立支援とICFの視点を基本にした課題解決の過程を理解し、自立に向けたアセスメントが介護計画作成への重要な鍵となることを理解する。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員 他

【馬場】介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

週	授 業 の 内 容
1	介護過程における[自立]とは何か理解する(馬場)
2	ICFの視点を含め、生活者としての対象者のとらえ方を理解する(馬場)
3	「リハビリテーション」を目指す情報の関連付け・統合化・分析を理解する(馬場)
4	介護過程におけるノーマライゼーションを知る(馬場)
5	「活動・参加」「個人因子」「環境因子」を考慮した生活課題の抽出方法を知る(馬場)
6	介護における支援の目標設定方法と具体的な援助計画の作成方法を理解する(吉岡)
7	日常生活の自立支援に向けた個別介護支援計画を作成する(吉岡)
8	個別介護支援計画の実施方法を理解する(馬場)
9	個別介護支援計画の実施上の注意点を理解する(吉岡)
10	個別介護支援計画の具体的な実施における記録について理解する(吉岡)
11	実践した介護の記録を基にした評価方法を理解する(吉岡)
12	評価の実践を知る(演習)(馬場)
13	介護過程における評価、再アセスメントの過程の重要性とその効果を理解する(吉岡)
14	介護過程の一連としての実施・評価による対象者への影響を理解する(吉岡)
15	事例を通して、自立支援を目指した日常生活における援助のための介護過程を理解する(吉岡)

【履修上の注意事項】

必ず、予定されている授業内容を確認してテキストを読み、指示された事前レポートを作成すること。
講義終了後は振り返りを行い、指示された課題に取り組むこと。
事前・事後学習に要する時間 計90分程度

【評価方法】

筆記試験：80% 課題の提出：10% 講義における積極性：10%
提出されたレポートについてはコメントを入れて返却する

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集 「介護過程」 中央法規 最新版

【参考文献】

講義中、適宜指示する。